

令和元年度
12月補正予算主要事業の概要
(事業別説明資料)



目 次

(市民福祉部)

新規	宮川保育園の再開に向けた準備	1
新規	がん患者に対する医療用ケア用品の購入支援	2
新規	循環器系救急医療提供体制整備の支援	3

(消防本部)

新規	NET119 緊急通報システムの導入	4
----	--------------------	---

新規 宮川保育園の再開園に向けた準備

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
4,100	一般財源	4,100	工事請負費	3,500
			備品購入費	500
			消耗品費	100
(現計予算 0)				

2 事業背景・目的

宮川保育園は、地域の子どもの減少に伴い、保育園の目的の一つである集団生活の体験を提供できる状況にないことから、平成29年度より一時休園としてきました。

今回、令和2年度の入園希望者が4名となり、今後も数年にわたって一定の入園児が見込まれることから、令和2年4月より同保育園を再開園します。

再開園に向けて良好な保育環境の確保を図るため、冷房設備等を整備します。

3 事業概要

- ・冷房設備の新設
園児の体調管理のため保育室や子育て支援センター室等にエアコンを設置します。
- ・保育用備品の補充、更新
テレビ・DVDプレーヤー、おもちゃなどの保育用備品、消耗品を購入します。



(款)	3 民生費	(項)	2 児童福祉費	(目)	2 児童保育費
所 属	市民福祉部子育て応援課	TEL0577-73-2458	予算書	P. 21	

新規 がん患者に対する医療用ケア用品の購入支援

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
150	一般財源	150 補助金
(現計予算	0)	150

2 事業背景・目的

がん患者の悩みごとは社会生活全般にわたり、中には治療に伴う脱毛等により「変わってしまった自分を見せたくない」との思いから社会とのつながりを避ける例も少なくなく、治療のみならず心のケアが必要です。

こうしたことから、岐阜県はがん患者の治療と就労・社会参加等との両立を支援し療養生活の向上を図るため、平成31年度よりがん患者に対する医療用ウィッグ購入費の助成制度を開始しています。

これに呼応し、市においても県のウィッグ購入助成への上乗せ支援を行うとともに、市独自の取り組みとして乳房補正具の購入費助成制度を創設し、がん患者の精神的なケアと経済的な不安の解消に努め、がんと共に生きることができるとともに社会の実現を目指します。

3 事業概要

○ がん患者医療用ケア用品購入助成金（150千円）

がん治療の影響による外見の悩みを軽減するための医療用ケア用品を購入されるがん患者に対し、その費用の一部を助成します。

- ・ 医療用ウィッグ購入費助成
ウィッグ等の購入費用の 1/2 以内・上限 1 万円を支援（1 人 1 回限り）
※県制度との併用により最大 2 万円の支援となります。
- ・ 乳房補正具購入費助成
乳房補正具（右側・左側）の購入に際し、
片側につき 2 万円以内を支援（片側につき 1 人 1 回限り）



(款) 4 衛生費	(項) 1 保健衛生費	(目) 1 保健衛生総務費	
所 属	市民福祉部市民保健課 TEL0577-73-2948	予算書	P. 23

新規 循環器系救急医療提供体制整備の支援
(久美愛厚生病院に対する機器購入補助)

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】				
2,308	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">県支出金</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">1,154</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td style="text-align: right;">1,154</td> </tr> </table>	県支出金	1,154	一般財源	1,154	補助金 2,308
県支出金	1,154					
一般財源	1,154					
(現計予算 0)						

2 事業背景・目的

高山赤十字病院の循環器内科医師の不足に伴い、平成30年4月より飛騨圏域における心臓など循環器系の急性期疾患にかかる救急医療の提供は、久美愛厚生病院が一手に担う状況となっています。

現状では循環器専用の検査装置がなく、同時に複数症例が発生した際に医療機器が不足する可能性があることから、医療現場が必要とする医療機器を早期に導入できるよう財政的支援を行うことで、安定的な循環器救急医療提供体制の早期確保を図ります。

3 事業概要

○ 二次医療圏医療提供体制整備補助金 (2,308千円)

岐阜県及び飛騨地域3市1村の連携により、循環器内科における緊急症例の円滑な診療や複数同時症例への対応に必要な医療機器の早期導入に向けた支援を行います。

【整備事業費】

総事業費予定額 … 19,970 千円 (久美愛厚生病院の投資額)

上記に対する3市1村の支援額 … 13,313 千円 (予定事業費の2/3) *1

うち飛騨市の支援額 … 2,308 千円 (3市1村支援額の17.34%) *2

*1 各市村の支援額に対し岐阜県より支援額1/2を補助

*2 H30.4月からR1.6月までの循環器疾患救急入院患者数より (飛騨市47名/全体271名)

【整備予定機器】

- ・ 超音波画像診断装置 (循環器用新設1台)
- ・ 体外式ペースメーカー (増設1台)
- ・ 大動脈内バルーンポンプ (増設1台)



(款)	4 衛生費	(項)	1 保健衛生費	(目)	1 保健衛生総務費
所 属	市民福祉部地域包括ケア課	Tel	0577-73-6233	予算書	P.23

新規 NET119 緊急通報システムの導入

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
495	一般財源 495	委託料 495

(現計予算 0)

2 事業背景・目的

現在、市内在住の音声による119番通報が困難な聴覚障がい者や音声・言語機能障がい者からの通報は、自宅からのFAXや市内外出先からの電子メールによる緊急通報システムで対応していますが、救急や火災などの発生から通報までに手間と時間のロスが生じ、市内からの119番通報に限られるといった課題があります。

このため、スマートフォンなどから専用Webサイトより通報できる「NET119緊急通報システム」を導入し、通報時の手間や時間ロスの軽減を図ります。

なお、本システム導入は県内初であり、令和2年度以降、全国の多くの消防本部でも導入が予定されていることから、他地域への滞在時にも利用可能となります。

3 事業概要

○ NET119緊急通報システム導入委託 (495千円)

専用Webサイトを通じて、災害種別、位置情報を入力することで即座に消防本部へ通報され、その後チャット機能により詳細な状況を確認する仕組みです。今年度中に運用を開始し、対象となる聴覚障がい者や音声・言語機能障がい者への普及促進に取り組みます。

【導入例】



(款)	9 消防費	(項)	1 消防費	(目)	1 常備消防費
所 属	消防本部指令課 TEL0577-73-0119			予算書	P. 29